

広報 ながはま 5月号



教育事始め式で自己紹介する新任教員

地域ぐるみで教育推進を

今月号の主な内容

- 60年度施政方針……………2～3
- 予算の使いみち今年度の特徴……………4～6
- 議会・そのほか決まったこと……………7
- 一般質問……………8～11
- 町職員録……………12～13
- 町職員人事異動……………14
- お知らせ・寄付採納……………15
- 戸籍のうごき……………16

教育事始め式

四月十二日、町体育館で町内小、中、高校の教職員、幼稚園、保育所、PTA、公民館などの関係者およそ二百人が出席して、昭和六十年教育事始め式が行われました。

これは、年度始めに教育関係者が一堂に集まって、親睦を深めるとともに豊かな人間性を育てる地域ぐるみの教育推進を図る目的で開いているものです。

新任教員の紹介、教育基本方針の発表、学校、社会教育を代表しての意見発表が行われたあと、勝田利雄さんの「今、教育者に求められるもの―気くばりと人間力」と題した講演があり、みんなで教育について考えました。

開発事業の推進

地域経済の活性化を図って

昭和六十年長浜町議会第一回定例会が、三月十九日から二十六日までの八日間の会期で開かれ、第二次開発事業にむけて第一歩を踏み出した六十年の当初予算が可決されたほか、開発事業に伴う漁業補償契約の締結など二十九件はいずれも原案通り可決されました。また、例月出納検査、寄付採納報告など議会報告の三件は受理採択

されました。議案審議を前に町長が昭和六十年の施政方針を演説。続いて五人が一般質問を行いました。町長の施政方針、可決されたこと、一般質問の模様をあらましをご紹介しますので、六十年の長浜町のあり方などご判断ください。

開発事業の推進

紀に向けて地域経済の活性化を図るための諸施策が展開されている。特に西瀬戸経済圏構想の実現化は、本町の開発事業が核としての役割を果す流通基地建設が含まれており、この時にこの構想を所管する国土庁政務次官に我が長浜町が生んだ偉大な先達者である西田先生が就任されたことは神仏にも優る加護であり、開発事業はさい先のない出航をみる事ができた。今後共、ご教示、ご指導をお願いしたい。

六十年度施政方針要旨

はじめに

六十年という年は、議員各位には任期最終年の重要で、次期にこそ飛躍をされる年であり、私にとつても町長二期目の第三年を迎える意義のある年である。

我が長浜町においては、昭和三十年の町村合併から三十年を迎えた本年、第二次開発事業の出発点となる漁業補償問題が西田代議士の揮身のお力添、議員各位の積極的

なご支援と漁業協同組合長以下役職員のご深いご理解、ご配慮、漁業者各位のご協力、そして県のご指導をいただいで解決したことに、心からなる感謝と謝意を捧げたい。昭和六十年の本町は、飛躍の意義ある年として、長浜町史にページを止めることになり、英知と努力を後世に残すもので、私にとつても困難を乗り越えた人生最大の感激であり、永遠に心の奥深く留めることができることを関係各位に重ねてお礼申し上げたい。

化し、不透明な状態が継続して、軍事、経済ともいどのような方向に進むか予測できない状況である。経済部門では、オイルショック以来省エネルギー対策が進展し、



施政方針を述べる二宮町長

国内においては、財政再建下の厳しい財政運営、行財政改革の推進による公社、現業の民営化、税体系の見直し、技術革新によるテレビア、ニューメディア都市圏の建設、バイオテクノロジーによる動植物の改良など新規で、しかも高度の総合力をもって緊急に対応を迫られている。

交通面では、青函トンネルの開通、本四架橋、高速自動車道、近距離航空網整備の必要性が叫ばれている。

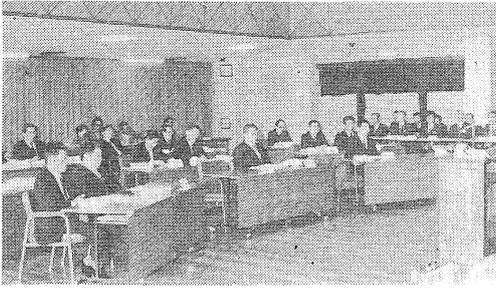
本県では、白石知事提唱の西瀬戸経済圏構想の推進、松山市を中心とするテレビア都市建設、八西地域のニューメディア圏、高速自動車道の部分開通など二十一世紀

国際、国内情勢

我が国をめぐる国際情勢は急激な変化をみせ、内容も複雑、多様

行財政改革の推進

時代の変せんに対応するため、また、開発事業を推進するために不必要、不合理な機能、機構を洗い直し、行財政改革検討委員会



議案を審議する各議員

のご審議を頂いて、ご理解、ご協力を得るものから順次実施いたしたい。
国における制度改正問題を受けて住民の皆さんの福祉の低下につながるような吟味して、当初予算はいろいろな事項を踏まえ義務的経費を軸とした骨格予算で、政策的な予算は七月以降緊急性の強いものから補正していきたい。

住民福祉対策

人生七〇年が八〇年に移行しつつ欧米諸国以上の高齢化社会が実現しつつある今日、我が国の繁栄をもたらした功労者は老人であり、敬愛の念を基調として国、県の施策と相まって快的な生活が送れるよう必要なものを模索していきたい。また、各種団体のボランティア活動を助長し、病弱者等の社会復帰、自立自助の促進、家族介護

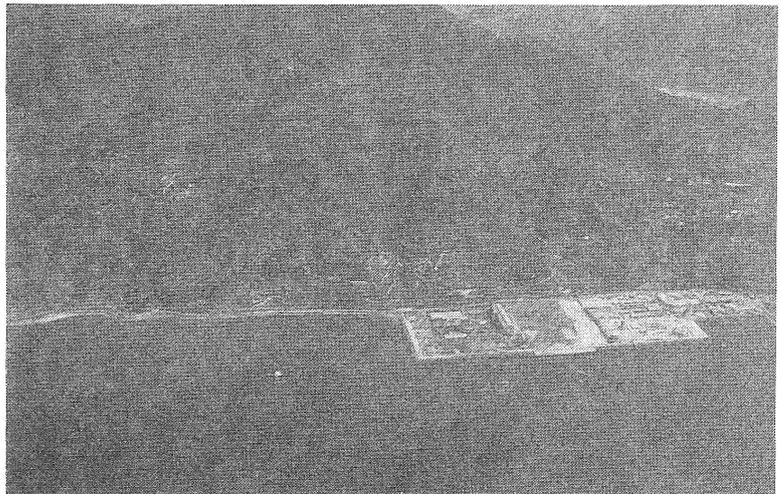
の充実、デイサービス事業の導入など条件整備に努めながら、障害者、低所得者、母子家庭の救済、自立化にあらゆる行政機能を活用して実効をあげたいと考えている。

特に社会問題となつてくる医療費対策については、老人保健法、医療保険制度の改正に伴うもので、不況下で自己負担の増大に不満をもたれる住民に財政的な補てんをするよりも、保健、予防を重点的にを行い、通常の保健活動に加え、学校、社会、教育を通じて体力づくりと薬草利用の方向に転換していかなければならないと痛感している。

快適な生活 環境の整備拡充

水道については既に改修工事を施工中であり、完成後は県下で多数の水道施設が実現する。生活道は国、県道の改修工事と連動させて新設、改良を行い、集落の排水、集会施設、局地的な緑地、遊園地、レクリエーションなどの施設も必要度の高いものから整備していきたい。

また、防犯、交通安全施設も継続して行い、下水道、大規模な公園、緑地、街路、レクリエーション、各種のセンターなどの施設に



第二次開発事業で埋め立て予定の今坊沖

入園者定数削減あるいは今後施設の統廃合の検討を余儀なくされつつあるが、私達の時代を考える。一抹の寂しさを覚える。

産業の 振興対策

我が国の第一次産業は、戦後最大の窮地に直面している。食糧は民族が生きていく限り自給を原則とするが、昨今の輸入枠拡大、自由化促進、木材製品、未開放食品の市場開放要求など前途多難で、益々厳しさを増大させる環境にある。

については開発事業との関連において整備を進め、住民の定住化を促進したいと考えている。

教育施設の整備

教育は後世の人々に対する我々の義務であり、国においては臨時教育審議会において学校制度、受験入学時期などについて検討がなされつつあり、国の施策の決定を受けて教育問題に対処したい。

ただ各地域の出生者数の激減で保育所、小学校の入園、入学者数が年々減少し、複式学級の増加、

進していきたい。
漁業においては、作る漁業の適合性、自然環境を生かした魚礁の造成、漁業経営の近代化、それに伝統漁法の継続などを進めて参りたい。
なお、第一次産業全般にわたり、国、県の施策を導入し、育成を図りながらより効率化を進めて参りたいと考えている。

商工業については、単独での振興対策を講じることによる波及効果は薄く、地域産業の振興によって経済に活力を与え、振興を図ることが効果的といわれ、基本姿勢を堅持し、開発事業との関連性の強化を図って、時期に適した振興対策の検討を行っていききたい。

おわりに

これらの施策を展開するためには、人、金、時間が必須条件であり、その選択実施の時期の判断が大なる課題である。これにたずさわる人材によってこの成否が決められ、幸いにして長年研修、努力を重ね豊かな経験を有する優秀な職員を前任者から受け継いでおり、この人々が補佐し、補充してくれるものと確信している。昭和六十年の町政の進展に私の政治生命をかけて取り組むため、全エネルギーを燃焼する覚悟を新たに、本町の開発事業が成功することを信じている。

議会・予算の使いみち今年度の特徴

全般的な特徴

地方財政をとりまく情勢はさらに厳しく、国庫補助負担率および起債充当率の引き下げにより、全科目にわたって徹底見直しを行いました。住民生活に直結した

新しい事業や、とくに力をそそぐ事業、前年度当初予算に比べて大きく変化の生じたものなどを「特徴」とし、まとめてみました。(文中の％は、前年度当初予算との比較。一般会計の目的別費目総額の(一)内の％は、同予算の総額に占める同費目予算の割合)

予算の使いみち今年度の特徴

事業は可能な限り組み込んで、これらの財源を確保するため一般行

政経費の徹底節減に努めました。今後における事業は、その効果効率をよく見極め、行政バランスをくずさないよう当初予算を編成しています。

開発事業の推進

昭和60年度

昭和60年度の当初予算が次の通り決まりました。(％は前年度当初予算との比較)

- 【一般会計】33億 8,079万7千円(3.6%増)
- 【国民健康保険特別会計】8億 5,426万6千円(8.6%増)
- 【国民健康保険直営診療所特別会計】782万2千円(10.1%増)
- 【住宅新築資金等貸付事業特別会計】5,437万1千円(32.6%減)
- 【港湾施設特別会計】1,000万円(0.0%)
- 【老人保健特別会計】5億1,817万2千円(13.8%増)
- 【臨海土地造成事業特別会計】14億120万円(16.8%減)
- 【簡易水道事業特別会計】1億3,679万2千円(28.5%増)
- 【水道事業会計】収益的収入予定額1億1,911万3千円。収益的支出予定額1億1,911万3千円。資本的収入予定額4億300万円。資本的支出予定額4億2,115万1千円。
- 【工業用水道事業会計】収益的収入予定額2,526万円。収益的支出予定額2,518万6千円。資本的収入予定額0円。資本的支出予定額699万8千円。

総務費



- 一般管理・文書
- 広報・有線放送
- 電話・財産管理
- 企画・事務連絡
- 生活行政
- 推進・徴
- 税・戸籍
- 住民登録
- 選挙など
- のことに使
- 金のこと

3億 4,820万 4千円(10.3%)

一般会計

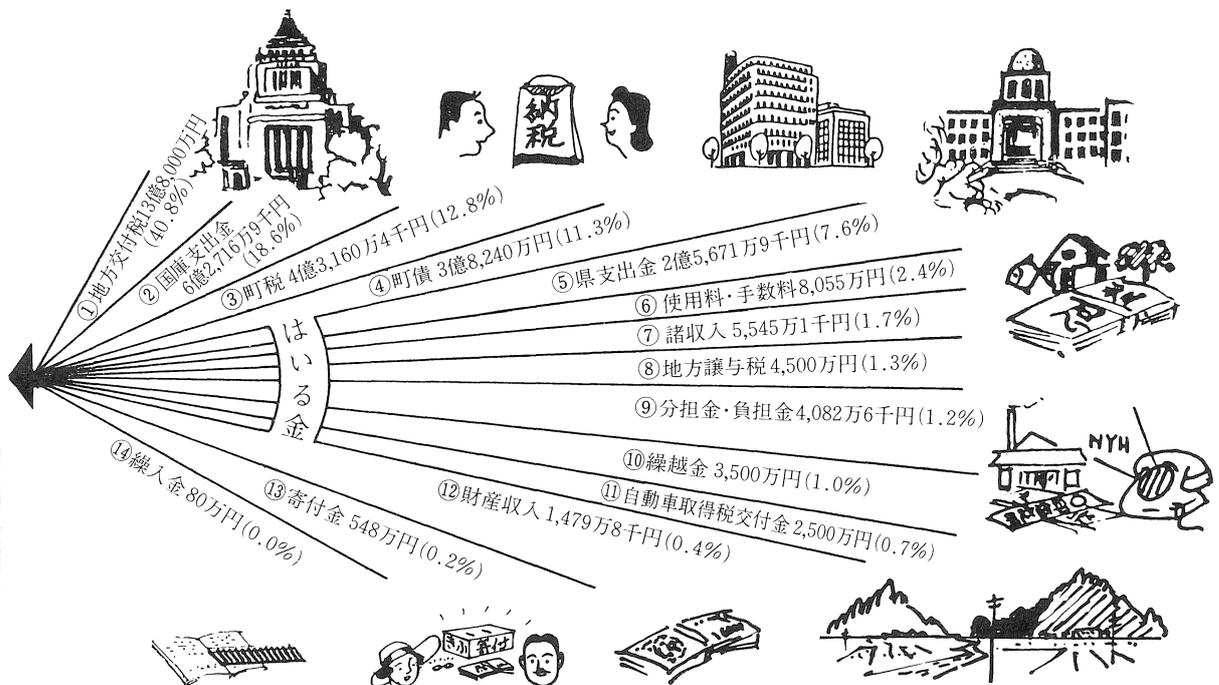
合併二十周年記念事業費など

一般管理費では、長浜町合併三十周年記念事業に二百万円。有線放送施設は、白滝地区の幹支線改修工事を行うことにしています。今年十月七日で満了となる町議会議員選挙費三百九十八万一千円。統計費関係で国勢調査に四百四万八千円。そのほか商業統計調査、工業統計調査などの費用四十九万

た一般会計

円の歳入歳出

字は金額の順位)占める割合)



議会・予算の使いみち今年度の特徴

三千円。
企画費では、青島長浜航路補助金、過疎バス補助金などを計上しています。
生活行政推進費では、コミュニティ活動の施設として、須合田地区と大越地区に集会所を建設、陽だまりの部屋を設置することになっています。



電算導入による委託金など

老人福祉では、高齢化社会を迎え、老人数が増加しているため高齢者年金に三百八十四万円、敬老会関係に四百七万円、老人クラブへの助成金百五十五万円、特老負担金百七十七万六千円を計上しています。

社会福祉関係では、社会福祉協議会補助金二百九十三万、心身障害者、長期療養者施設入所者の見舞金二百三十四万三千円、民生児

童委員などの費用二百二十三万円、重度医療に一千四百四十万円を計上しています。
母子福祉は、零歳児母子医療費として六百二十八万円を計上しています。
国民年金は、電算導入で委託金の増額により一千六百六十三万五千円を計上し、地方改善事業は、四億四千七百万円を計上しています。



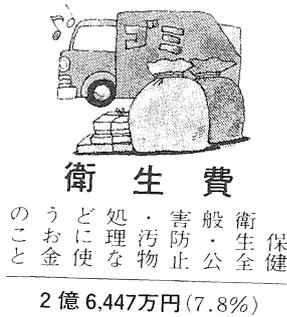
足山線の林道開設費ほか

農業委員会費では、委員会組織の運営活動費と農地調整費用などに八百四十二万円。
農業振興費では、農業生産総合振興と農用地利用の増進対策として、かんきつ産地再編整備特別対策事業などの補助金四百六十六万七千円、畜産関係では、酪農総合共進会、家畜事故防止対策費補助などの経費を計上しています。

国土調査は、穂積地区の一部二、四二平方キロの登記事務と穂積地区の残り〇・九九平方キロ、下

須戒地区の一部一・二九平方キロの現地調査を実施する予定で、この必要経費二千四百九十九万三千円。

林業費では、林道開設で林道叶松・足山線に一千二万五千円、林道出石寺線に八百三十二万九千円。水産振興費では、漁業環境の保全を図るため、共同作業所および漁具保管施設の工事請負費、魚貝類の増殖を図るため稚魚中間育成、稚魚放流およびたこつぼ投入事業などの補助に四百六十万円、魚礁設置関係では築いそ、並型魚礁の工事請負費などを計上しています。



厄年検診などで健康づくり

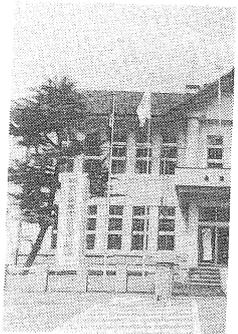
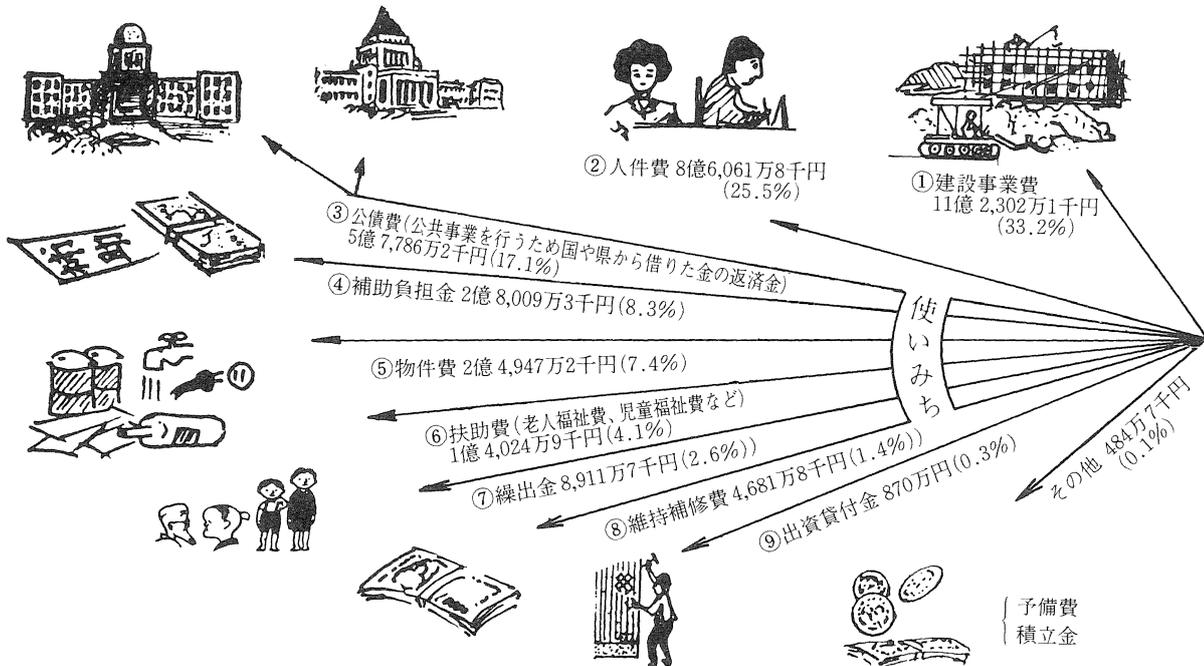
健康づくりを主眼に四十歳以上の方を対象に健康診査、健康教育、健康相談、訪問指導を行うほか、新たに厄年検診を実施します。これは、今年厄年を迎えた数え年男四十二歳、女三十三歳の方を対象に健康事業を推進することになっています。

四十歳未満の方に対しては、今

性質別に

33億8,079万7千

(金額は千円単位)
(①②など円内数)
(%は予算総額に)



議会・予算の使いみち今年度の特徴

まで通り早期発見、早期治療のため
の各種保健事業を行い、皆さんの
健康増進を図ることになっています。

峯大越に一般廃棄物最終処分場
の汚水処理施設が完成し、供用開
始に伴って、処理施設の維持管理
に二百四十二万八千円を計上して
います。

じん芥処理費は、四、五年毎に
行う焼却炉内のレンガ張替など補
修費として八百三十八万五千円を
計上しています。



土木費

道路
・河川
・港湾
・下水
道・交
通安全
施設な
どに使
うお金
のこと
2億4,569万2千円(7.3%)

道路網ネット
ワークの形成

道路関係では、過疎計画などの
中長期整備計画に添って計画的な
道路網ネットワークの形成を目的
として、町道柿ノ久保線ほか八か
所の改良、舗装を行うことになっ
ています。

下水道では、生活環境の改善の
ため、櫛生地区ほかを新設、改良、
清掃により排水機能の充実を図る

ことにしています。

漁港建設では、漁港整備計画に
基づいて、漁港機能の高揚と生産
基盤の充実を図るため、沖浦漁港
ほか三か所を整備することになっ
ています。

河川維持関係では、土石流災害
を未然に防ぐため、正面谷川ほか
町管理の河川の整備を図ることに
しています。

農林水産業、農地関係では、農
業生産基盤の維持効用を図るため、
原材料費、工事請負費などを計上。
県単土地改良事業関係では、土
地基盤整備(道路、水路、舗装)
の工事請負費、それに伴う必要経
費などを計上しています。



商工費

商業
・工業
・観光
関係に
使うお
金のこ
と
2,721万8千円(0.8%)

商工、観光事業の
補助金など

商工業の振興を図るための補助
金および中小企業振興資金融資の
ための預託金、また、観光事業推
進のための補助金を計上していま
す。

そのほか、街路灯の修繕および
公園の維持管理に必要な経費を計
上しています。



消防費

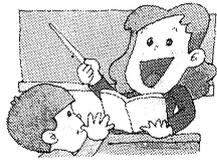
防火防
災のため
に使うお
金のこ
と
9,434万7千円
(2.8%)

防災啓発のパン
フレットを配布

非常時に備えて、四十立方メートル
の防火水槽二基(今坊、豊茂)を設
置することになっています。また年
次計画により可搬ポンプ二台(出
海、柴)を購入することにしてい
ます。

防災啓発パンフレットを各戸に
配布することになっています。

教育費



学校教
育・社会
教育の全
般に使う
お金で水
族館・公
民館・保
健体育・
校舎建設
などの費
用も含ま
れます
2億7,833万円(8.2%)

豊茂小の屋内運
動場を新築

教育施設整備の充実を図るため
豊茂小学校屋内運動場の新築工事
に要する経費、長浜小学校防球フ

エンス、長浜中学校の技術教練防
水工事に必要な経費を計上。

そのほか社会教育関係に必要な
経費を計上しています。



議会費

町議
会運営
のため
に使う
お金の
こと
5,783万2千円
(1.7%)

総額で一・七％多くなっています。



労働費

労働条
件の改
善など
のため
に使う
お金の
こと
142万5千円
(0.0%)

総額で〇・二％多くなっています。

特別会計

国民健康
保険

8億5,426万6千円



加入者の高齢化
による老人保健拠出金の増加、医
療技術の向上、保険法の改正など
による高額医療費の大幅な伸びに
より、約九％の増額となっていま
す。疾病予防対策を充実させ、医
療費の抑制を図ることになってい
ます。

老人保健

5億1,817万2千円



老人保健に必要な医
療費および人件費を計
上しています。総額で一三・八％
多くなっています。

国保直診

782万2千円



累積赤字解消分百万
円および単年度事業赤
字解消のため百六十五万八千円を
繰り入れて赤字解消に努めていま
す。



公債費

借金
の返済
金のこ
と
5億7,792万2千円
(17.1%)

総額で一七・一％多くなってい
ます。



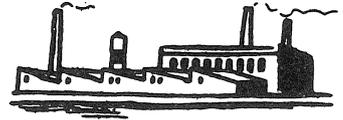
予備費

あらか
じめ定ま
っている
目的以外
に使うお
金のこ
と
479万7千円
(0.2%)

議会・そのほか決まったこと

地 土 事 業

14億120万円



今坊地区臨海工業用地の護岸を築堤するための工事請負費および諸調査のための委託料などを計上しています。

港 湾 施 設

1,000万円



一千万円を計上して港湾施設を管理することになっています。

金 業 資 産 新 築 住 宅 等

5,437万1千円



本年度は、新築三件、改修二件、用地取得一件の希望がある見込みです。総額で六七・四%少なくなっています。

簡 易 水 道 事 業

1億3,679万2千円



前年度に引き続き、配水管布設のための工

事業を計上しています。

水 道 事 業

(頭書の通り)



今年度は、上水道の幹線となる配水管布設工事を実施するため、その工事費を計上しています。

工 業 用 業

(頭書の通り)



本年度は、料金改定を行って一トン当り十四円の基本料金で計算することになっています。

金 橋 通 朝 さん

固定資産評価審査委員



長浜町固定資産評価審査委員会委員・上田重喜さん(長浜)は、

三月三十一日で同委員会委員の任期が満了のため、町長は後任委員に金橋通朝さん(七一歳)写真を写真を選任、議会の同意を求めた結果、万場一致で同意され、同委員に決まりました。委員は次の方々です。戒川の徳田平八郎さん、出海の藤井嘉友さん、長浜の金橋通朝さん

商 店 街 アー チ 建 設 費 等

一般会計補正

昭和五十九年度一般会計予算に六千七百七十七万七千円が補正され、予算の総額は三十九億三千七百九十万三千円となりました。補正したおもな使いみちは次の通り。

【総務費】有線電柱移転工事、築地地区町有地整備のための工事請負費。合併三十周年記念事業のための経費、例規集追録費あわせて七百七十八万三千円。除籍および改製原戸籍の見出簿再製委託料百円。

【民生費】特別養護老人ホーム「神南荘」の整備負担金一千六百六十四万六千円。大谷口地区道路関係の補償費三百九万九千円。児童措置費は措置児童数の増により五百五十六万一千円。

【衛生費】須沢地区で処分している最終処分土の運搬委託料三百五十万。

【労働費】労働者の生活の安定と向上のために設立された愛媛県労働者信用基金協会への出せん金五十二万九千円。

【農林水産業費】緑のまちづくり促進事業で長中校庭に植樹する経費。漁業振興の補助金八百万円。

【土工費】本町商店街アーチ建設費補助百二十万円。

【土木費】柿ノ久保線の排水路改良負担金三百五十万円。小浦団地の整地費。大和団地の用地購入費二千九百万円。

漁 業 補 償 契 約

七億五千万円で

第二次臨海工業開発事業に係る漁業補償は七億五千万円で長浜町漁業協同組合(組合長理事・二宮英二)と契約を締結することが承認されました。

町 税 条 例 の 改 正 等

四月一日から日本専売公社が日本たばこ産業株式会社へ移行するに伴い、「日本たばこ産業株式会社法」「たばこ事業法」「塩専売法」の制定とこれに関連する地方税法の一部が改正され、町税条例のうちたばこ消費税に課税する部分を全面改正することになりました。

長 浜 町 の 均 衡 有 限 地 利 用 計 画 を 策 定 発 展 を 願 っ て

土地 利 用 計 画 を 策 定

近年における土地の抜本的取引の増大による地価の高騰、土地の大量買占め、乱発による自然環境の破壊という土地問題を解決するために、土地の有効利用、町土の均衡ある発展と保全を図る目的で、

国土利用計画(長浜町計画)を策定することが承認されました。内容については次の通り。

長浜町は、昭和七十年を目標とした長浜町土地利用計画を策定しました。この計画は、国土利用計画法に基づいて、公共の福祉を優先させ、自然環境の保全を図りながら地域の自然、経済、文化的な条件を配慮して、長浜町の均衡ある発展を図ることを目的としたものです。

有 限 な 土 地 を 有 効 に

長浜町は、長浜川の河口に発達した町であり、その地形は、長浜川およびその支流の流域に点在する若干の平地を除き大半は山地です。従って、急峻な山腹に散在している農用地も多く、市街地は長浜川のデルタ地帯に広がりに広がり、その背後地は少ない。しかし、本町は交通上においては、国道三七八号線や国鉄予讃本線などの内陸交通と、さらには瀬戸内海を通じた海運の便に優れ、このため臨海部の埋め立て地を中心に工業開発を進めようとしています。今後これらを含めた総合的かつ十分な土地利用の調整が必要になります。

また、背後の山地は町域面積の大半を占める重要な土地資源であり、自然環境の保全、災害の防止に加えて農林業の育成をめざした土地利用を図る必要があります。このため、町土の利用を計画するにあたっては、本町を真に住み

よい豊かな地域社会とするため、経済的な諸活動の拡大に伴って生じる各種の土地需要に対し、適切に対処しなければなりません。しかしながら、環境の保全、災害防止およびその他の土地の利用を制限する諸要因等から、町土の利用転換が必ずしも容易でない状況にあり、限られた町土資源を前提とした需要の調整が極めて重要な課題となります。

適切な土地利用

利用区分ごとの土地需要については、有効利用を促進し、総合的かつ計画的な調整を行い、適切な土地利用の確保を図ります。

農用地

農用地については、宅地化、森林化等により一部減少するものと考えられ、将来にわたり安定的な食糧の供給を行うと共に、町の経済を支える基礎的生産基盤でもあることから、生産性を高める一方、優良農地の確保を図ります。

森林

森林については、林業基盤としての機能に加え、町土の保全、水源のかん養、保健休養、自然環境の保全および鳥獣の保護等、公益的機能が総合的に発揮できるようにその整備を図ります。

河川

水面、河川、水路については、環境の保護、災害の防止を図るた

め、整備を促進します。今後予想される水需要の増大に対しては、水資源の確保と農業等の用排水施設に必要とされる用地の確保を図ります。

道路

道路のうち、一般道路については、市街地内交通混雑の解消および町土の有効利用と生活基盤の整備を進めるため、これに必要なとされる用地を確保することとしています。なお、道路の整備にあたっては、交通安全のための施設整備と沿道環境の保全対策に十分配慮して行うこととします。

農林道については、農林業の生産性の向上および農林地の適正な管理と町民による保健休養等の有効利用を促進するため必要な用地の確保を図ります。

宅地

宅地については、望ましい居住水準を目標とし、生活関連施設の整備を進めながら今後の宅地需要に伴い必要とされる用地の確保を図ります。工場用地については、公害の防止と環境の保全に配

意しながら、その機能的配置に努めるとともに、必要な用地の確保を図ります。

市街地

市街地については、過密化を防止し、安全性の確保を行うとともに、土地の高度利用と都市機能の更新を行うための整備を図ります。

その他の土地

その他の用地については、今後増大する行政需要にあわせて必要とされる公園、レクリエーション用地および公共施設用地の確保を図ります。

町土の利用目的に応じた区分ごとの規模の目標 (単位: ha)

| 区分 | 基準年次 | 中間年次 | | 目標年次 |
|----------|-------|-------|-------|-------|
| | 昭和50年 | 昭和60年 | 昭和65年 | 昭和70年 |
| 農用地 | 1,103 | 1,020 | 992 | 963 |
| 農地 | 1,103 | 1,020 | 992 | 963 |
| 採草放牧地 | — | — | — | — |
| 森林 | 4,994 | 4,856 | 4,848 | 4,848 |
| 原野 | — | — | — | — |
| 水面・河川・水路 | 192 | 191 | 191 | 193 |
| 道路 | 260 | 312 | 335 | 359 |
| 一般道路 | 201 | 238 | 258 | 282 |
| 農林道 | 59 | 74 | 77 | 77 |
| 宅地 | 147 | 156 | 163 | 169 |
| 住宅地 | 82 | 89 | 93 | 94 |
| 工場用地 | 14 | 16 | 16 | 28 |
| その他の宅地 | 51 | 51 | 54 | 56 |
| その他 | 741 | 902 | 943 | 950 |
| 合計 | 7,437 | 7,437 | 7,472 | 7,490 |

お気軽にお話しを

五月は巡回連絡月間

派出所、駐在所の警察官は地域の実情を知り、皆さんの交わりを深めたいと願い、ご家庭や会社等をお尋ねし、ご意見、ご要望をお聞きしています。

地域における困りごとや警察に対する要望はもちろん、明るい話題など何でも結構です。五月は「巡回連絡月間」として、積極的に訪問活動を行います。

一般質問

今回の議会では、山本議員、大野真良議員、東正行議員、西宮正幸議員、二宮義徳議員が質問を行いました。

六月中に工事着工

日刊新愛媛の報道は誤報

第二次開発事業の推進

山本議員：長浜町の発展は第二次開発の推進以外に考えられないというところで進めてきたが、去る三月十一日に漁業補償が妥結し、十四日に正式に調印されたことはこの上もない喜びであり、同時に責任の重大さを感じている。

これからの進め方として埋立免許時期の見直し、四国電力の石材受入れ時期は当初の計画よりも約一年遅れていると思うが、総合工程に支障は生じないか。また、工事に着工できる見直しはいつごろか。

漁業補償が妥結され、補償金の支払いが約束されているが、その支払方法、融資金融機関、借入金の返還方法等についてお聞かせいただけますか。

スムーズな企業誘致を図るため、造成地の単価を坪当たり十万円以内にするのができるのか。

一部日刊新愛媛等で小型船だまり完成後の漁船の移転に対し、一億二千万円の補償とも移転費ともとれる記事が報道されているがどうなっているのか。

議会・一般質問

二宮町長：今坊地区の海岸は建設省管理の海岸であり、将来は従来の港湾を拡張し、大型港湾として整備が必要ことから、港湾区域の変更について協議がなされ、運輸大臣の認可を残すのみとなっており、四月中には認可が得られるものと思う。埋立免許の申請事務を早急に終わらせ、港湾区域の変更認可を待つて埋立免許申請を提出したい。



環境アセスメントで水質調査をする担当者

スケジュールの策定については、四国電力の工事に支障をきたさないよう協議を進めて参りたい。
 なお、五月末までには知事の埋立免許を得て、六月中には工事に着手し、五、六か月かけて土石の受入れ可能な護岸を築造し、石材受入れに対応したいと考えている。
 支払い方法については、七億五千万円で妥結しており、二〇%の一億五千万円は三月末までに、残りの八〇%については五月末に支払う予定である。

金融機関は交渉中であり、現在、県信連、伊予銀行、愛媛相互銀行、広島銀行を予定している。

坪単価については、最大限の努力をして十万円以内におさえたい。新聞報道については誤った報道がなされた訳であり、漁業補償金は正に七億五千万円で、それ以外の補償金(裏金等)は全くない。

起債及び交付税で

補助金カットの対応

山本議員：国においては、財政改革を強力に推進するため高率補助金はおおむね一割カットの決定をしている。当町もその影響は避けられないと思うが対応はどのように考えているか。

景気の上向きはあるが、地方税および地方交付税はあまり期待できないと思うがどのような状況か。

国の歳出予算の抑制により当町の建設事業も縮小され施設整備等も遅れるのではないかと、また、二次開発事業の具体的な着手によりこの影響で一般行政へのしわ寄せはないか。

一宮町長：補助率引下げは昭和六十年代度だけであり、減額分は起債の発行および地方交付税の増額により措置すると聞いている。地方財政への負担転嫁は許されないと考えている。

財源の確保について、税収はあまり期待できないので地方財政計

画および社会経済情勢を把握し歳入欠陥が生じないように留意してきた。

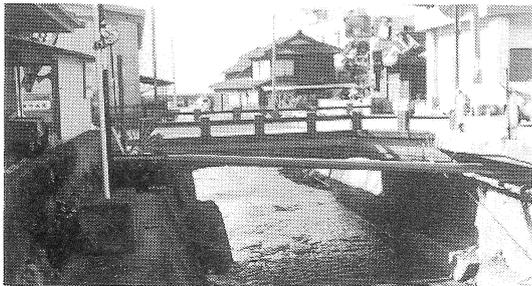
建設事業は計画的に事業の施行をしており、国、県へ積極的な働きかけをして対応したい。

開発を行った場合の町負担は、一般会計に影響が全くないとはいえないが、行革によって経費の削減を図りながら地域経済の活力に貢献していきたいと考えているのでご協力いただきたい。

六十一年度から
料金を改定

水道会計の健全運営

山本議員：昭和五十八年に水道料金の改定を実施したにもかかわらず一トン当り九円の赤字を出し続けており、このような状態の中で水道会計は健全な運営がなされ



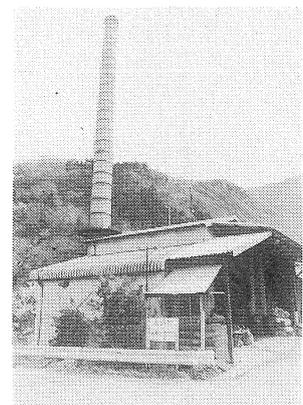
西南地区簡易水道施設整備事業で完成した櫛生水管橋

ているのか。独立採算性が取ればそれに越したことはないが、第三次改良工事を完全実施した場合、水道会計の給水原価ほどの程度の伸長率を示すのか。

年次の町民に水道会計の実情を説明し、理解を求めて一度に大幅な料金改定をせず、本年度あたり料金の改定が考えられるがどう対処していくのか。考えているとすれば、時期はいつごろになるのか。上げるとするほどのくらい上げる見込みの試算をたてているのか。

二宮町長：将来の長浜町の人口、および水量の増加等の需要に対応するため第三次拡張改良工事を実施している。六十一年度から六十三年度までの費用は約一億七千三百六十万円かかる予定で、給水原価が一立方メートル二百二十一・二円、供給単価は百五・五七円となり、毎年九千九百万円あまりの欠損金が出てくる見込みである。伸々独立採算制でまかなえるものではなく、全国あるいは県内の水道料金等を配慮して昭和六十一年度から逐次料金改定をさせていたきたいと考えている。

率については、経費の上昇の都合などもあり明確な数字というのは試算できないが、一般会計からの持ち出しにも限度があり、ある程度の上乗せはやらせていたかないとやれないと考えているのでご理解いただきたい。



沖浦にあるじんあい焼却場

単独か広域化を
検討

ごみ焼却場

西宮議員：ごみ焼却場は、建設以来十四年を経過して既に耐用年数も過ぎて老朽化しており、建設すべき時期にきていると思うが、開発にあわせて場所を考えていくべきであり、今後ごみ焼却場を新規に建設するならば七、八百坪須沢寄りの「白木橋」というところの広場を考えるとどうか。

また、火葬場も見直しの時期がくると思うが、ごみ処理場とあわせて少しでも離れたところへ建設を考えているか。

一方、ごみ処理場を大洲市との広域組合の中で処理するよう加入申し込みを考えていると聞いたが、大洲市まで運ぶことになる時間帯がかかり、いろいろな問題が出てくると思う。慎重にこのことを考えていただきたいが、どのような取り組み方をしていくのか。

二宮町長：施設はたいへん老朽化しており、新しく作りかえるこ

とについて検討しているが、現在は応急修理をして対応している。このような施設は、長浜町単独でやるか、あるいは広域でやるか二つをあわせて検討している。

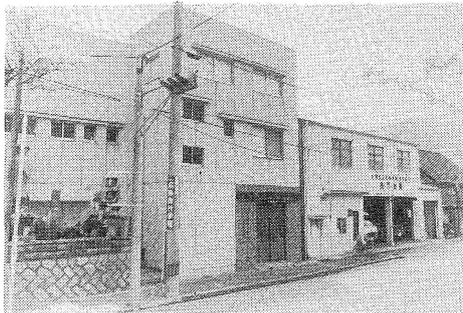
現在、大洲市でもごみ焼却場の改築が計画されており広域でやるのがいいのではないかと強い意見もある。皆さん方とよく相談をし、大洲市との連携もとつて今後の方向づけをして参りたい。

単独でやる場合は、いわれたようなことも検討しながら場所を決定したいと考えているのでご理解いただきたい。

会議室として 広く開放

〔元森林組合事務所の利用〕

西宮議員：旧町内は土地が少ないため商工業の会合の場所がないが、元森林組合の事務所は便利な場所であり、町内の商工業、商工連盟、



役場分室として使っている元森林組合事務所

信販、婦人会などの諸団体の会合の場所に開放していただくことはできないか。

二宮町長：役場も改築をしなければならぬ状況で、現在役場の分室として使っている。会議室としては広く開放しており、申し込みがあるものについてはできる限り便宜を図っており、今後そのような配慮をしていきたいのでご理解いただきたい。

また、開発構想の中には商工会館の建設も入っており、逐次具体化し、計画にして実施したいと考えている。

行革大綱策定を 準備

〔行政改革の推進〕

大野議員：町の行政改革は自治体の自主性を損うことなく、臨調の基本答申を尊重しながら積極的に取り組まなければならぬと思う。本町においては行政改革プロジェクトチームおよび行政改革検討委員会を設置して取り組んでおられるが、現在どのように推進しているか。

また、自治省において地方行政改革大綱が策定されており、これについてはどのように取り組み、推進していくのか。

二宮町長：国、県の方針を尊重しつつ、真剣かつ速やかに取り組んで参らねばならないと考えている。

閣議決定により地方公共団体の行革推進の指針が示され、本年八月末を目標に大綱を策定するよう指導を受けており、本町においても行政全般における行革大綱を策定するため現在準備を進めているのでご理解いただきたい。

要望に添えるよ う努力

〔県道藤縄・長浜線の改良〕

大野議員：県道藤縄・長浜線は諸集落の生活、生産基盤に不可決の道路機能を有する主要な路線であるが、まだ移管が完了していないため県営による改良は不可能と思われる。沿線住民の一人として一日も早く改良に着手され、交通需要への対応と地域産業の振興に寄与されるよう願っているがその見直しはどうなっているのか。

また、破損部分や舗装の修理は今後どのような方向でやっていたらいいか。

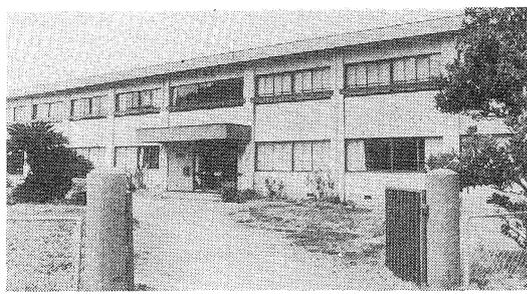
二宮町長：本線は長浜町だけでなく大洲市にまたがる路線であり、移管手続き上、道路用地の登記完了が義務づけられており、本町分だけで延長約一六・一キロ、筆数は六百七十筆あまりある。多くの費用が必要であり、大洲市と県営移管事務の対応について検討しており、歩調を合わせて対処する

ため調整にとまどっているが、要望に沿えるよう努力したい。

寮生のある限り 運営

〔中学校の寄宿舎〕

東議員：中学校のなぎさ寮の定員は七十人であるが、現在七人しか入舎しておらず、少人数のために多大な財政負担となっていることを聞いている。社会の変化と交



寮生が減ったなぎさ寮

通事情の変化によって通学する生徒が増え、入舎する生徒が減ったためと思われる。行革検討委員会に諮問されていると聞いているが、どのようになっているのか。寮を廃止される考えはあるか。今後どのような取り組みをしていくのか。

三井教育長：寄宿舎は中学校の統合に伴い、通学困難な生徒を入舎させ、教育条件の改善と保護者の負担を軽減して義務教育の円滑な運営をする目的で建てられており、青島、戒川、豊茂、都梅を主体としている。本年度末の寮生は五人であったが、来年度は八人予定している。職員は、調理員一人、寮母一人、寮長、副寮長、舎監八人

休館して再検討

〔水族館の存廃〕

東議員：当町の水族館は、昭和十年に建設され、今日まで児童、生徒の生きた視覚教材として、また海水浴場とあわせて憩の場として親しまれてきているが、経済的な面からみると毎年赤字を出しているようであり、行政改革が叫ばれている現在、水族館を休館する考えはないか。また、開発事業とあわせて立派な水族館を作る構想は立てておられるか。

水族館を廃館した場合、跡地はどのように使用されるのか。有効に使用する考えはあるか。

二宮町長：建設以来五十年を経過した現施設の老朽化は如何ともしたが、専門家に診断を受けた結果、水槽に危険性があり、修復するのに莫大な費用を要するので、

厳しい財政の中での対応は極めてむづかしいと思う。行革検討委員会の答申によると、休館をして修復可能かどうか再検討するのが適当であるとの結論を得ている。新しい水族館の建設は、開発計画の中でとり入れ構想をたてている。

跡地については修復可能も考えられるので直ちに廃館とせず、利用方法については皆さんの意見を聞きながら対応して参りたい。



休館して検討する水族館

長浜・中村線のうち、小浦から沖浦に至る間は、県単で毎年三千万円くらいでやっているが、特殊改良なり道路改良を導入してやらなければというところで県と合議をしている。まだ、法線が決まっているので、県の段階で検討しており、できるだけ早く法線を決めて特改なり道改を取り入れて早期に完成させたいという計画で県と接渉中であるのでご理解いただきたい。

法線決定し、早期完成

小浦から沖浦へ

通じる県道
道路改良整備

二宮(義)議員：行政的な配慮により道路整備はできているが、海岸線の国道は波によって交通障害を起す時があり、その後の整備についてどのような働きかけをし

ているのか。

また、県道の整備は数か所行われているが、中でも交通量の多い小浦団地から沖浦に通じる県道の整備はいつまでに完成させるのか。県との交渉はどうなっているか。

二宮町長：国道については、波浪が高く、利用が心配だということだが、今後消波工を実施する以外に方法はないと思うので、逐次実施して安全に通行ができるよう整備について県へ要望していきたいので宜しくお願したい。

事務のO A化、民間委託等推進

行政姿勢と行政改革

二宮(義)議員：六十年度は長年の課題であった二次開発事業が漁業補償の妥結により新たに出發していく年であり、国、県においても行政改革に取り組んでいかなければならない年であるということ、我々議員間でも自覚し、認識

をもつて対応していくということ、議員定数を二人減らして十八人ということ、議決している。

長浜町の行政姿勢について、例えば定数減の問題、職員の間関係の問題など今年度の具体的な取り組み方について伺いたい。

二宮町長：施政方針の中でも述べており、行革大綱の中で指摘しているように事務の見直し、事務のO A化、事業の民間委託などいろいろな課題を掲げて取り組んでおり、ご理解と今後のご協力をお願いしたい。

開発の進ちよく 状況と合わせ

開発事業と住民の要求

二宮(義)議員：二次開発事業の名のもとに町民の要求というのは現在まで押えられており、住民からの声も聞いておられるのではないかと思う。老朽化した庁舎改築の年度はいつごろの見通しか、また、水族館の問題もあるが、そこに遊園地を作るにしても、そのことができないと要望にはこたえられないと思うが、それまでに住民要求にこたえるにはどのような考え方なり取り組みをしていくのか。

二宮町長：二次開発が進行する過程の中で適切な時期をとらえて施設を完備していきたい。特に庁舎、町民会館、商工会館など構想はもっているが、造成ができていない段階なので、いつ何をする

かということについては計画がたっていない。今後開発の進み具合とあわせて構想を計画に移して早くそのような施設を作り上げたい。

高校と連絡を 取り合い

地域の人の和、意識づけで

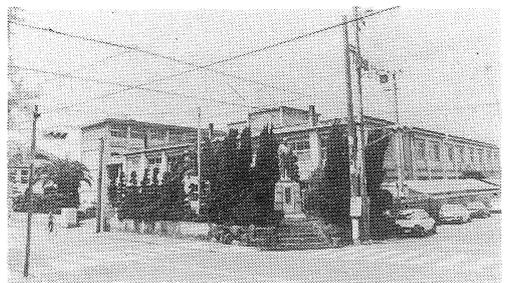
長浜高校と教育姿勢

二宮(義)議員：長浜高校は県立ではあるが長浜教育の顔だと思ふ。この高校をどのように育てていくか、行政も住民のみんなとお互いに真剣に考え、取り組んでいかなければならないと思うが、教育行政を預っている委員会は、この長浜高校をどう受けとめ、どう感じているか。

また、教育に志す者は全て専門職らしい専門職を育て、それにより本当のコミュニケーションができ、教育効果がでてくるのではないかと思うが、委員会としてどのような考え方、取り組みをしていくのか。

長浜教育のレベルをあげていくということになれば、高校までは長浜教育だということであるが、この意識についてどのように考えているか。

三井教育長：高校は県立で直接のつながりはないが、同じ地域であり、それなりの対応は必要だと認識している。教育事始め式には高校の先生も参加していただき懇親を深め、つながりをつけて対応している。



西村兵太郎さんの銅像がたつ長浜高校

また、年何回か教育連絡協議会を開き、高校の正常化といったことにも働きかけをしている。あるいは、学警連絡協議会でも非行の問題を中心にしながら連携を図って、同じ町に住む生徒として配慮していくべき点について話し合っている。

今後は、できるだけ地域の行事に、中学生、高校生の参加を呼びかけ、地域の住民であるという意識づけと共に、普段の生活で自覚をもつてもらおうよう高校と連絡をしながら進めていかなければならないと考えている。

長浜高校の生徒については必ずしも良い評判を得ていないが、学校で直接預る先生におすがりしてそれを盛り上げる地域の人の和、一人一人の意識づけを盛り上げていくより道はないのではないかと、思う。そのための委員会としての協力的体制は十分やっていきたい。

長浜町職員録

本 庁

憲 議 生
重 田 福
宮 田 邦
二 森 日
長 役 入
町 助 收

総務課

課長 上田 邦彦
課長補佐 山下 国広
課長補佐 山本 勝延

(庶務消防係)

主事 山下 国広
技手 都築 住江
技手 成田 信重
書記 上地 末子
書記 垣見 正志

書記 堀垣美恵子
婦人交通指導員 稲垣美恵子
用務員(嘱託) 東 ツキエ

(兼)係長 山本 勝延
書記 松岡 陽規

(管財係)
事務専門員兼係長 山下 一仁
書記 楠野 茂利

(文書係)
事務専門員兼係長 山根カヨ子
主事 横道 里見
書記 亀田 稔

(広報有線係)
事務専門員兼係長 叶本 正
技術専門員 大野 泰俊
技手 熊本 真弓
書記 大本 昭裕
技手 三浦 直重
技手 菊地 直美

課長 泉 芳信

開発課

課長 泉 芳信

主事 田中 宏幸
係長 宇都宮 芳文

事務専門員(社協担当) 藤本 富雄

係長 二宮 正昭
書記 井上 裕重

事務専門員兼 松石 之道

税務課

課長 小川 平
課長補佐 石住 武俊

(住民税係)
主事 石住 武俊
係長 小西 貫一
書記 宮上 孝一

(固定資産税係)
係長 田中 宏幸
主事 宇都宮 芳文

係長 田中 宏幸

主事 宇都宮 芳文

係長 田中 宏幸

主事 宇都宮 芳文

係長 田中 宏幸

事務専門員兼係長 政所 友邦
書記 三秋レイ子
書記 稲田 宏

課長 高橋 亮
課長補佐 大野 智

事務専門員 新田 道夫
書記 城戸 広美

衛生課

係長 西本 幸雄
主事 坂東 敏幸
保健婦 一宮 和子
保健婦(臨) 原間 雅子
保健婦(臨) 深部美智子
看護婦 平田美佐子

(國保係)
係長 村上 隆志
書記 吉田 明美

(環境係)
係長 久保 博昌

(焼却場)
技術専門員兼主任 大野 勇
技師 久保田健市

(同和对策係)
係長 木下 保利
書記 久井 一

(福祉年金係)
事務専門員兼係長 平田 豊子
主事 大國 尚子
主事 滝内 仁
書記 宇根やす子
書記 菊地 英夫

(住民係)
事務専門員兼係長 和田 正義
書記 城戸 茂利
書記 浦上恵美子
書記 友沢あつ子

(兼)係長 藤沢 豊彦
書記 大橋 京子
書記 河内 厚子
保母 宮本 邦子
用務員(嘱託) 岡 志喜子

(兼)係長 藤沢 豊彦
書記 大橋 京子
書記 河内 厚子
保母 宮本 邦子
用務員(嘱託) 岡 志喜子

(兼)係長 藤沢 豊彦
書記 大橋 京子
書記 河内 厚子
保母 宮本 邦子
用務員(嘱託) 岡 志喜子

(兼)係長 藤沢 豊彦
書記 大橋 京子
書記 河内 厚子
保母 宮本 邦子
用務員(嘱託) 岡 志喜子

(兼)係長 藤沢 豊彦
書記 大橋 京子
書記 河内 厚子
保母 宮本 邦子
用務員(嘱託) 岡 志喜子

(兼)係長 藤沢 豊彦
書記 大橋 京子
書記 河内 厚子
保母 宮本 邦子
用務員(嘱託) 岡 志喜子

(兼)係長 藤沢 豊彦
書記 大橋 京子
書記 河内 厚子
保母 宮本 邦子
用務員(嘱託) 岡 志喜子

(兼)係長 藤沢 豊彦
書記 大橋 京子
書記 河内 厚子
保母 宮本 邦子
用務員(嘱託) 岡 志喜子

(兼)係長 藤沢 豊彦
書記 大橋 京子
書記 河内 厚子
保母 宮本 邦子
用務員(嘱託) 岡 志喜子

(兼)係長 藤沢 豊彦
書記 大橋 京子
書記 河内 厚子
保母 宮本 邦子
用務員(嘱託) 岡 志喜子

(兼)係長 藤沢 豊彦
書記 大橋 京子
書記 河内 厚子
保母 宮本 邦子
用務員(嘱託) 岡 志喜子

(兼)係長 藤沢 豊彦
書記 大橋 京子
書記 河内 厚子
保母 宮本 邦子
用務員(嘱託) 岡 志喜子

(兼)係長 藤沢 豊彦
書記 大橋 京子
書記 河内 厚子
保母 宮本 邦子
用務員(嘱託) 岡 志喜子

(兼)係長 藤沢 豊彦
書記 大橋 京子
書記 河内 厚子
保母 宮本 邦子
用務員(嘱託) 岡 志喜子

(兼)係長 藤沢 豊彦
書記 大橋 京子
書記 河内 厚子
保母 宮本 邦子
用務員(嘱託) 岡 志喜子

(兼)係長 藤沢 豊彦
書記 大橋 京子
書記 河内 厚子
保母 宮本 邦子
用務員(嘱託) 岡 志喜子

(兼)係長 藤沢 豊彦
書記 大橋 京子
書記 河内 厚子
保母 宮本 邦子
用務員(嘱託) 岡 志喜子

(兼)係長 藤沢 豊彦
書記 大橋 京子
書記 河内 厚子
保母 宮本 邦子
用務員(嘱託) 岡 志喜子

(兼)係長 藤沢 豊彦
書記 大橋 京子
書記 河内 厚子
保母 宮本 邦子
用務員(嘱託) 岡 志喜子

(兼)係長 藤沢 豊彦
書記 大橋 京子
書記 河内 厚子
保母 宮本 邦子
用務員(嘱託) 岡 志喜子

(兼)係長 藤沢 豊彦
書記 大橋 京子
書記 河内 厚子
保母 宮本 邦子
用務員(嘱託) 岡 志喜子

(兼)係長 藤沢 豊彦
書記 大橋 京子
書記 河内 厚子
保母 宮本 邦子
用務員(嘱託) 岡 志喜子

(商工観光係)

主幹 平田 友幸
係長 新田 道夫
主事 城戸 広美

(國土調査係)
主幹 波多野 進
係長 上田富喜男
主事 浪本 忠則
書記 一宮 義道

(農地係)
主事 矢野 克
書記 日野 敏子

(兼)係長 矢野 克
主事 日野 敏子

建設課

課長 丸山 寿一
課長補佐 佐々木晋一
主事 中野 健藏
書記 宮下紀久重
書記 久保 嘉範

(建築・都市計画係)
技術専門員兼係長 西田 孝

(農業土木係)
係長 佐々木晋一
技師 重松 直博
技師 戎 徹

(公共土木係)
技師 菊地 洋一
技師 三秋 敦司
技師 山本多喜男
技師 藤岡 章男

(港灣係)
事務専門員兼 中野 貴夫
書記 松石 之道

出 先

60年4月1日現在

教育委員会
教育課

教育長 三井 前
 課長 酒井 義禹
 課長補佐 笹本 栄一
 (総務係)
 長 下田 健三
 (学校教育係)
 (兼)係長 笹本 栄一

(社会教育係)
書記 大本みつ子

事務専門員兼係長 上満 治雄
 社会教育主事 菊地 邦求
 中央公民館主事 矢野上和雄
 書記 中田 主助
 指導員(嘱託) 岡野 勝敏
 指導員(嘱託) 小亀 咲代

水道課

課長 真鍋 典秋
 課長補佐 大元 宗一
 (庶務・工業用水道係)
 係長 清水 俊三
 書記 松本伊代子
 技手 藤本 修二

(工務係)

第一係長 植杉 岳志
 第二係長 森川 純行
 技手 谷上 真悟

会計室

室長 上川 万敏
 事務専門員 宮岡 亀古
 書記 久保美恵子

議事事務局

局長 渡辺 敬
 書記 松本 治子

農業委員会

事務局長 矢野 克

老人ホーム

園長 久保 弘
 園長補佐 久保 博道
 書記 大野 良子
 主任寮母 富岡トシコ
 寮母 清水 藤子
 寮母 一宮トモエ
 寮母 清水 愛子
 寮母 松本 和重
 看護婦 平田由美子
 主任調理員 永木喜美子
 調理員 山中イチエ
 調理員 一藤 豊
 用務員 寺坂 満子
 栄養士(嘱託) 松田 仁美

公民館

(喜多灘連絡所・今坊公民館)
 主任兼主事 小林 吉安

隣保館

(櫛生連絡所・櫛生公民館)
 主任兼主事 山本 安広
 (出海連絡所・出海公民館)
 主任兼主事 清水 康則
 (豊茂連絡所・豊茂公民館)
 主任兼主事 山崎 一義
 (大和連絡所・大和公民館)
 主任兼主事 友沢 敏
 (白滝連絡所・白滝公民館)
 主任兼主事 窪 憲一

(今坊隣保館)

主事 小林 吉安

(櫛生隣保館)

主事 山本 安広

診療所

(青島診療所)
 看護婦 赤丸 恵子

保育所

(櫛生診療所)
 看護婦 高田 美香
 (出海診療所)
 看護婦 宝生 房子
 (豊茂診療所)
 看護婦 坂田 嘉代
 (長浜中学校寄宿舎)
 調理員 中谷トリエ

(長浜保育所)

所長 谷川 俊子

主任保母 大成 節子

保母 西山みち子

保母 佐竹千恵子

保母 平野 悦子

調理員 岡崎美智子

所長 西宮 幸子

(櫛生保育所)

主任保母 西田 清子
 保母 矢間栄津美
 保母 清水 郁子
 保母 戎 裕子
 技手 児玉クミ子
 (沖浦保育所)
 所長 下田 美澄
 主任保母 池田スミ子
 保母 吹春みね子
 保母 三好 五月
 保母 宇都宮由美子
 調理員 浪本 満子

(出海保育所)

所長 西岡 房子

主任保母 石川 令子

保母 木ノ本律子

保母 山本 直美

(喜多灘保育所)

調理員 田丸 富枝
 (大和保育所)
 所長 玉井 徳美
 主任保母 宮岡 民子
 保母 矢野 越子
 保母 沢田 幸子
 保母 梶本 幸子
 保母 児玉 智代
 保母 吉岡とよ子
 保母 矢野元朝子
 調理員 笹本 直江

(豊茂保育所)

所長 大藤 恭子

主任保母 萩森理恵子

保母 横山 典子

調理員(嘱託) 楠野 幸子

保母 菊地さと子

調理員 都田 悦子

町職員人事異動

4月1日付けで

44人を異動

町職員

長浜町職員の人事異動を、四月一日付けで行いました。今回の異動者は総数で四十四人。内訳は次の通り。課長補佐級四人、係長級五人、書記および書記補級七人。保育所は、所長六人、保母十六人、調理員六人。

二宮町長は、今回の異動について「昨年度大幅な異動を行ったため、今年度は開発体制の整備、強化をするため小規模にとどめ、保育所は人事の刷新を図った」と述べています。

四月一日付けで異動した職員は次の通り。()は旧任。◎は昇任、昇格。

- 【課長補佐級】経済課長補佐兼農地係長・矢野克(経済課長補佐)
- ◎経済課長補佐兼商工観光係長・平田友幸(経済課事務専門員兼商工観光係長)
- ◎教育課長補佐兼学校教育係長・笹本栄一(経済課事務専門員兼農地係長)
- ▽老人ホーム白山園長補佐・久保博道(教育課長補佐兼学校教育係長)
- 【係長級】住民課事務専門員・藤本富雄(老人ホーム白山園長補佐)
- ▽経済課事務専門員・新田道夫(水道課庶務工業用水道係長)
- ◎衛生課技師・久保田健市(衛生課書記)
- ◎水道課工務第二係長・森川純行

(水道課技師) ◎水道課庶務・工業用水道係長・清水俊三(建設課書記)

【書記および書記補級】開発課・久保文章(経済課)▽開発課・窪清一(総務課)▽経済課・井上裕重(衛生課)▽建設課・松石之道(教育課)◎建設課・久保嘉範(同)

▽老人ホーム白山園・平田由美子(衛生課)

【その他課内昇任昇格者】◎総務課事務専門員兼文書係長・山根カヨ子◎総務課事務専門員兼広報係長・叶本正◎税務課事務専門員兼収納係長・政所友邦◎住民課事務専門員兼福祉年金係長・平田豊子◎住民課事務専門員兼住民係長・和田正義◎建設課事務専門員兼港湾係長・中野貴夫◎教育課事務専門員兼係長・上満治雄◎開発課主事・西岡敏博◎税務課主事・小西貫一◎同・宇都宮芳文◎住民課主事・大岡尚子◎同・滝内仁◎衛生課主事・坂東敏幸◎経済課主事・吉田直人◎同・浪本忠則◎建設課技師・重松直博◎同・三秋敦司◎同山本多喜男◎櫛生公民館主事・山本安広◎開発課書記・菊地博幸◎税務課書記・宮上孝一◎水道課技師・谷上真悟

【保育所長級】白滝・西宮幸子(喜多灘)▽櫛生・山本美智子(白滝)▽大和・玉井徳美(出海)▽豊茂・大藤恭子(櫛生)▽喜多灘・山本コトエ(大和)▽出海・西岡房子(豊茂)

【保母】長浜・佐竹千恵子(白滝)▽喜多灘・矢野幸子(大和)▽長

浜・西山みち子(大和)▽白滝・戎裕子(沖浦)▽白滝・矢間栄津美(長浜)▽白滝・清水郁子(豊茂)▽沖浦・三好五月(長浜)▽沖浦・宇都宮由美子(出海)▽出海・山本直美(沖浦)▽櫛生・鈴木佳代子(長浜)▽大和・矢野越子(櫛生)▽大和・児玉智代(白滝)▽大和・矢野元朝子(喜多灘)▽大和・吉岡とよ子(喜多灘)▽住民課・宮本邦子(白滝)▽櫛生・白石玉子(出海)

【調理員】長浜・岡崎美智子(喜多灘)▽沖浦・浪本満子(長浜)▽出海・田丸富枝(沖浦)▽大和・笹本直江(櫛生)▽喜多灘・楠野幸子(豊茂)▽豊茂・都田悦子(大和)

【臨時】衛生課・深部美智子

【嘱託】教育課・小亀味代▽老人ホーム白山園・松田仁美

【退職】経済課長補佐・中田晋▽住民課事務専門員・隠岐龍法▽老人ホーム主任調理員・上田ミドリ▽教育課嘱託・久保カツミ▽水族館嘱託・三石むめ志

現況届の提出を 国民年金



年金を受けている方は、毎年五月中旬に国民年金受給権者現況届を提出しなければなりません。この届は、引き続き年金を受ける権利があるかどうかを確認する大切な届けです。届け出が遅れたり、忘れたりしますと、次回からの年金の支払が遅れたり、止められますので、必ず年金係へ提出してください。

障害範囲が拡大 身体障害者手帳

身体障害者福祉法の一部改正によって、身体障害者手帳交付の障害の範囲が増えました。追加されたのは、「そしゃく(食物をよくかみくたぐこと)機能障害」および「ぼうこうまたは直腸機能障害」です。該当すると思われる方は、役場住民課へお問い合わせください。

事業主の皆さんお早めに 労働保険の申告納付 5月15日まで

昭和六十年度の労働保険料(労働保険、雇用保険)の申告納付の時期がきました。五月十五日が最終期限になっていますのでお早めに手続きを済ませてください。労働保険申告手続きで、ご不明の点がありましたら愛媛労働基準局(☎089912512101)または最寄りの労働基準監督署に

豊かな人間関係を 憲法週間 5月1日~7日

五月二日の憲法記念日を中心に、五月一日から七日までの一週間は憲法週間です。日本国憲法は「基本的人権の尊重」を基本原則の一つとしています。この基本的人権とは「われわれ人間が人間として生きていくためにもっている最も大切な権利です。最近の社会情勢から見ると、憲法が保障する人権は、残念ながら正しく認識されているとはいえない

お問い合わせください。 厚生年金、船員保険 年金住宅融資受付開始

厚生年金、船員保険の「年金住宅融資」の昭和六十年第一回の受け付けが始まりました。 【受付】昭和六十年五月~六月末(予定枠に達した場合は締切りです) 【利率】年六・〇% 【融資限度額】三百二十万円~一千万円(老人、身体障害者同居の場合は割り増しがあります。十五年以上二十年未満は八百万円、二十年以上は一千万円まで可能) 【申込取扱】先着順で無抽選。詳しいことは、愛媛県年金福祉協会(☎08991417667)か伊予銀行、愛媛相互銀行、愛媛信用金庫、東邦相互銀行、愛媛県信用農業協同組合連合会の本店、支店へお問い合わせください。

長浜嵐

青葉の季節となった。まことに爽かな浅みどり。浅みどりとえば「浅みどり澄みわたりたる大空の広きをおのが心ともがな、吟詠の稽古にはいつも一番最初に出てくるこの明治天皇御製を覚えている人は現在果して幾人くらいあるのだろう。▲浅みどりの瑞々しさは最早都会のものではない。宇宙時代に入って大空の広きは感じる人が少なくなったのではなからうか。自然の中で一番好ましい季節、青葉青空青海原、人生で表現すれば初恋の香り、この最も素晴らしい季節をもっとも愛し、もっとも大切に長くほのぼのと心とからだに記憶させる必要がありはしないか▲スピード時代もいいが素晴らしいもの、かけがえのない尊いものを見逃してつっ走っては何にもならない▲少年が一度に大人につっ走ると非行暴行しか残らない。世界平和も社会の安定も自然保護もヒステリックに急ぐと逆効果をもたらすことを反省して見ねばならぬ。急務だ！急ぐべきだ！ということばをこのさわやかな季節に一時手控えにして、大空の広き心と若葉の瑞々しい香りを思う存分吸い取ってみてはどうか。

保育所へ。
 ○上老松の中田晋さん(六〇)：丸型壁掛時計を役場経済課へ。
 ○内子町の稲井基代さん(故刀根ヨシノさん代理)：現金五万円を施設整備資金として白山園へ。
 ○豊茂の豊友会：掛時計を豊茂公園へ。
 ○豊茂保育所父母の会：賞状盆を豊茂保育所へ。
 ○豊茂保育所昭和五十九年度卒園児父兄一同：図書十二冊を豊茂保育所へ。
 ○大和婦人会：電気冷蔵庫(東芝GR1二一四A)を大和公民館へ。
 ○NHK松山放送局長本沢宏さん：ひな人形一式を老人ホーム白山園へ。
 ○白滝の武知繁夫さん(故武知政繁さん代理)：書架および図書七十六冊を中央公民館へ。
 ○昭和五十九年度長浜保育所卒園児一同：ホットプレートを長浜保育所へ。
 ○故竹内伊三郎さん、故竹内ヨリさん遺族代表藤岡ハナコさん：現金十万円を施設整備資金として老

住所氏名 婚姻届時年齢
 松山市 池田 美昇 (三三)
 黒内町 西田 満雄 (二七)
 保内町 長田 加代 (二四)
 長浜 西岡 和幸 (二二)
 戒川 西岡 和幸 (二二)
 長浜 尾上 英二 (二五)
 長浜 高澤 佳子 (二四)
 黒山市 大野 久子 (一九)

結婚

3月長浜町役場届出分(敬称略)



3月のトップは池田昇・美紀さんのカップル

人ホーム白山園へ。
 ○故三石ミヨさん遺族代表井上悦子さん：現金三十万を施設整備資金として老人ホーム白山園へ。
 ○故二宮茂雄さん遺族代表水沼梅香さん：四万三千七百三十円を施設整備資金として、長椅子一基、

住所氏名 死亡年齢
 柴谷 谷渕夫三男 (〇)

お誕生おめでとう!!
 3月届出分(敬称略)
 住所保護者氏名 続柄 児名
 柴谷 谷渕 由國 三男夫三男
 豊茂 藤田 武志 三男 考俊
 下須戒 村上 泰信 長女 ことみ
 柴坪 坪内 義和 長男 慎弥
 上老松 松岡 陽規 長女 葉子

全自動洗濯機一台、中山式快ユ器を老人ホーム白山園へ。
 ○故河原ユクエさん遺族代表河原正則さん：現金三十万円を施設整備資金として老人ホーム白山園へ。
 ○喜多灘保育所母の会一同：卓上ステレオを喜多灘保育所へ。



電電

電電公社からNTTへ

4月1日から電電公社はNTT(日本電信電話株式会社)になりました。電気通信事業はこれから競争になり、お客様にいろいろなサービスを自由にご利用いただけるようになります。今後も地域の皆様へ愛され、親しまれる企業になるよう努力いたしますので、ご愛顧の程よろしくお願ひします。

NTT伊予長浜電報電話局 ☎52-0000

長浜 中岡ハルヨ (七二)
 下須戒 神山より子 (三七)
 戒川 日野トヨ子 (五三)
 白滝 白石 勤衛 (八八)
 長浜 日賀志カ子コ (七三)

人口世帯数

人口をふやしましょう

| | 4月1日現在 | 前月との比較 |
|-----|-----------------------------------|------------------------|
| 人口 | 12,234人 (男 5,777人 女 6,457人) | 63人減 (34人減 29人減) |
| 世帯数 | 3,845世帯 | 6世帯減 |

若葉薫るすがすがしい季節を迎えました。野山にでかけると萌(も)えるような若葉：生命の息吹を感じます。月に一度くらいは野山に出かけて英気を養い、心身ともにリフレッシュして生活したいものです。
 と、ところで、四月二十二日に長浜町合併三十周年記念式典が行われ二十一世紀に向けての新たな第一歩を踏み出しました。みんなの良いアイデアを出し合って、町の三つの目標にもあるように「楽しく住みよい、豊かで働きがいのある、美しい人情と文化の町づくり」を目指していきたいものです。広報ながはまも少しでもお役に立ちたいと思います。皆さん、どのような意見でも結構です。お寄せください。

編集後記